

身 近 な 災 害

年

もろ だ

やまと

月 二 十 二 日 に 岩 手 県 で 大 雨 が 降 っ て い る と 、 七
僕 は い つ も 通 リ ニ ュ ー ス を 見 て い る と 、 一
時 間 の 降 水 量 60 m し な ど と 思 い ま し た 。 土 砂 災 害 の 故 言 報 も 出 て い る
と こ も 怖 い こ と だ と 思 い ま し た 。 で す が 、 一
と の く じ り の 量 な の か 全 然 實 感 が 涌 キ ま せ ん
で し た 。
災 害 の ニ ュ ー ス を 多 く 見 て 、 備 ん よ う と 思
て も 、 何 を 気 を 付 け や は い の
か ら な か つ た の で 調 や て み た こと に あ ま り 分
そ こ で 分 か つ た の は 、 ま ず 初 め に 、 自 分 が 住
の ホ ネ ル ハ ジ を 見 て い る と 、 自 分 の 家 は
大 夫 で も 、 祖 父 の 家 は 土 砂 災 害 警 戒 区 域 に A
認 す る こ と が 必 要 だ と 分 か り ま し た 。 濱 川 市
ん で い る と こ そ が 「 土 砂 災 害 警 戒 区 域 」 か 確
認 す る こ と が 必 要 だ と 分 か り ま し た 。 濱 川 市
大 夫 で も 、 祖 父 の 家 は 土 砂 災 害 警 戒 区 域 に A
の ホ ネ ル ハ ジ を 見 て い る と 、 自 分 の 家 は
大 夫 で も 、 祖 父 の 家 は 土 砂 災 害 警 戒 区 域 に A
で 災 害 が 起 き る こ と が 分 か り ま し た 。

災害が起きたのも冷静でいらぬうちに防
災グッズなどを準備する必要がありま
す。でも使えるような場所にスリップなど
の足を守る物や懐中電灯などの光源になら
むのが必要です。ナショナルに、非常食や防災用具
があれば、より安全でいいからることも分か
ります。念のため確認してみると、非常食以
外は置いてあります。いつ災害が起きるか
分からないのでしょかり備えておくことが大
切だと分かりました。

僕は実際に土砂災害を体験しました。
我が家に聞いたことがあります。それは、
が、実際に体験した土砂災害につけ教え
るとして、祖父が昔から前に、祖父が
所有していました。祖父は、+年ほど前に、
水も多く、そこには雨が降ったため、土砂災害が起きたことから、
るとして、祖父は、そのときは、地盤が弱く、地下
出し、川に流れ込んだそうです。祖父は、土
砂崩れが起きたのを見たのを見たのを見
たそうです。そして、群衆の土砂災害の
です。そして、群衆の土砂災害の

担当に連絡してもらったそうです。祖父の山は土砂流出防備保宍林といふ林があります。群馬県の税金を使って直してもらいました。土砂災害が起きたときには土止めといふ工事をするもうです。土止めとは針金の中に入れて土砂が流れないようにした時に土木を植えて根で抑えたりします。そして、山を元通りに修復しました。一度土砂災害が起きて色々な工夫をすることが元通りの山に戻せます。たまに土砂を止めようと石などを入れて土止めとあります。草木を植えたり、土止めとあります。土止めは土砂を止めようとしているのです。

かねかりました。

僕は体験したことが多くても対応できず、いつもこのような災害が起きるところが大切だと、祖父の話を聞いて、よくこのように備えろとかいひます。

の身近な人は、実際に土砂災害を体験してくるのが、いつでも対応できることも、実際に土砂災害を体験したことから、僕は体験したことがありました。

たまに、実際に去年の七月、熱海で大きな災害が起きました。そこで、実際に土砂災害を体験したことから、僕は体験したことになりました。

ほど被雪がありましたが、二千人以上の死者が出ました。二千人も、毎年

見た。そこで、二三人を見ていた。僕は、土砂災害に觸れた。そこで、死者が出る災害は起きたはいけない」とだけれど、土砂災害の怖さを知り、備えを見直した。する良い機会にもなったと思いまして。

土砂が崩れていたのを見たときには、壊れた土砂ご家が埋まっていたのと、家ごと流された。いの所がありました。どちらも起きました。防げる(ことはある)と思いません。例えば、祖父のときのところに土止めやコンクリートを置いたり、ネットに入れたりして、土砂が崩れないうにしたりすらことがないと感じます。起きてしまった防げなくとも、起きる前に防ぐ(ことも多い)と思います。

土砂災害だけでなく、地震などの災害のとかも、事前に備えておくことが大切だと田代

ます。非常食やライトなど、自分で用意でキ
ることもあれば、地盤を固めたり土砂を抑え
る物を作ったりするなどの・県や国などに任
せなければいけないことがあります。まほは、
自分で土をことから初心ことが大切です。
いくら備えこいても、実際に起きると大人で
も焦ってしまうと思いません。だから、焦った
としても大変な事にならないように備えるの
だと思います。いつも起ころが分からぬない身
近な災害が起きないようになります。だから備え
が大切だと遇います。ひいと日頃から備えしなくこと
が大切だと遇います。